

# NEWSLETTER



大阪女学院大学 大阪女学院短期大学

教 員 養 成 セ ン タ ー

- 巻頭エッセイ 心に沁みる「ことば」..... 1
- 特集：「教員免許状更新講習 2010」..... 2
  - ・ 論理的思考力や表現力を高める英語授業デザイン1 ..... 2
  - ・ 論理的思考力や表現力を高める英語授業デザイン2 ..... 3
- 授業の玉手箱 「教室に時事英語を」..... 4
- 書籍紹介 『外交官の「うな重方式」英語勉強法』..... 4

## 巻頭エッセイ

中垣 芳隆

### — 心に沁みる「ことば」 —

例年がない酷暑の中で小・中・高等学校では2学期がスタートしました。厳しい残暑に早く秋風が取って代わってくれるのを心待ちに、先生方のご自愛を願います。

日中の暑さに抗しがたく、TVを友とするうちに、梅津アナウンサー扮する「ことばおじさん」の軽妙な語り口に酔いながら、そういえば我が国は「言霊の幸福国」すなわち「ことばに宿っている不思議な力と働きによって幸福をもたらす国」であるとかつて教わったことを思い出すとともに、ことばの持つ力の例示として、デルフォイのアポロ神殿に刻まれていたという「汝自らを知れ」という格言についても教わったことを思い出しました。「かの毒杯をあおったソクラテスは、この格言に導かれ、当時のアテナイの人々が金銭や名声を求めることばかりに気を配り、『魂』をすぐれたものにするに気を配らないでいることを問題にし、そのことを徹底的に批判した。『魂』への気遣いを忘れるなら、何のために生きているのかという生の意味自身が不明になると考えたからである」と講義いただいたように記憶しています。

さて、この夏は教職課程の集中講義で「大村はま氏のことば」を扱う機会を得ました。著書「灯し続けることば」を通しての、同氏の思想、考え、大切にされていたこと、生き様に学生達はそれぞれに感銘を受けたようですが、彼らが一樣に感動したのは「優劣のかなた」と題する同氏の最後の詩でした。この詩を作るに当たって、同氏が人生の最後に一番大事にされた「ひたすら」という「ことば」は次の一節にあります。

学びひたり  
 教えひたる、  
 それは、優劣のかなた。  
 本当に持っているもの  
 授かっているものを出し切って、  
 打ち込んで学ぶ。  
 優劣を論じあい  
 気にしあう世界ではない、  
 優劣を忘れて  
 ひたすらな心で、ひたすらに励む。

学生たちは、これまでの学校生活への振り返りからそれぞれに感ずるところがあったのでしょうか、この一節を読むと、かつて勤務した高等学校で出会った高齢の生徒、在日のKさんの「ことば」がオーバーラップします。

そこでは一つのキャンパス空間の中に時間差で2つの異なる全日制と定時制の学校がお互いの文化を尊重しつつ、お互いの存在を主張していました。

定時制課程に学ぶ生徒たちは背景もさまざまなら、年齢も10代から70代までとまるで社会の縮図でしたが、高齢の生徒さんたちが一人の例外もなく、校門をくぐるときに「今日もよろしくお願いします」下校時には「ありがとうございました」と立ち番の先生に挨拶をされるのは驚きでもありました。

当時70歳前だったでしょうか、Kさんと心やすくなりました。クニに帰るたびに「校長先生おみやげ持ってきた。食べて」とキムチを差し入れてくれたものですが、ある時、彼女に「Kさんもそうだけど、年齢の高い人が、暑い日も寒い日も休むことがないのはなぜ？」と問いかけましたら、「私はな。戦争中は学校に行きとでも行くことが出来なかったので、頭が栄養失調やね。若い子らには簡単なことでもこの歳になると難しい。せやけど、今日一つ勉強して、ちょっとでもかきこなれることが嬉しいね。それに、私らにわからせよ思うて先生らが一生懸命教えてくれはるのに休むことはできんよ」。

時代の流れの中で、定時制課程は、72年のその歴史に幕を下ろしましたが、定時制課程では教育に関わる者が忘れてはならないことを、生徒さんを通して随分と学ばせてもらいました。その余のことについては機会をいただくことがあれば、またお伝えしようと思います。



教職課程夏季特別講習「教育と人間」 中学校・高等学校現職の先生による講義

「論理的思考力や表現力を高める英語授業のデザイン」

平成22年度 講習1：8月6日(金) 講習2：8月9日(月) 9：00～16：10

高等学校新学習指導要領(外国語)では、コミュニケーションを一層意識させる科目が設定された。情報をどう受け止め、どのようにレスポンスするかがコミュニケーションとしての英語力育成の基本スタンスとなっている。

本講習では、総合的な言語処理として思考力を呼び起こすリスニングの授業、英語と日本語の違いを意識し論理的な思考力を育成するリーディングの授業を、表現力としての音読や発音指導をどのように構想するかなどに焦点を当て、授業デザインを再考する実践的な講習を二日間それぞれ行った。

8月6日(金)

「論理的思考力や表現力を高める英語授業のデザイン」

- ・ 思考力を高めるためのリーディング授業の基本構想 中井
- ・ 思考力を呼び起こすリスニング授業の基本構想 東條
- ・ 伝える・伝わる英語表現活動としてのライティング指導の基本 中井
- ・ 英語学習におけるウェブサイトの活用 東條



講習1では、免許状更新のため13人の先生が受講され、2名の先生が聴講された。受講後の皆様からの感想の一部を掲載する。

文部科学省指定様式講習評価報告

- 4段階評価基準 4：よい(十分満足した・十分成果を得られた)  
 3：だいたいよい(満足した・成果を得られた) 2：あまり十分でない(あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった) 1：不十分(満足しなかった・成果を得られなかった)

- I. 本講習の内容・方法についての総合的な評価 … 3.92
- II. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価 … 3.92

受講者コメント

- \* 大変得ることの多かった講習となりました。学校現場は忙しく、日頃の勉強不足を痛感する機会ともなりました。また、Webの活用など新しい知識を得、今後の英語教育のあり方についても考えさせられました。Singlish, Japanglishということばは耳にしておりましたが、今後はGlobishということばに象徴されるよう、言葉を教えるだけでなく、思考力をつけ、自ら意見を持ち、それを発表できる場所まで視野に入れた教育をめざさなければならないと思いました。新カリキュラムでの評価の仕方、ポイントなどもご教示いただければ幸いと存じます。
- \* 「人」としての温かさを感じさせる英語の授業のデザインを教えていただいたような感じがしました。N先生には、今までいろんな場面で指導していただいた経験のあるラッキーな私ですが、今回も受講させていただき、やはり惹かれたのは、根底に人間としての「愛」があることなんだと再確認しました。先生が作られた、大学の教員養成センターのロゴマークのことも「なるほど」と思いました。ともすれば、「研究のための…」の多い研修ですが、やはり私たちは、日々、生徒に対して愛情を持って、「こんな力をつけてやりたい」-その気持ちを忘れず、

残り少ない(?) 教員生活を enjoy したいと思っています。ありがとうございました。

- \* 本日は有り難うございました。せっかくの講習なので、英語教育で力をつけてくれると言われていた貴学の講習を受講しました。特にリスニングの授業において、リーディングと組み合わせた方法は学校に帰ってからもやってみようと思います。また、教材研究をもっとして、テキストの原典にも当たってみななければいけませんね。普段の多忙さにかまけて、忘れていた英語教師としての原点を思い出しました。月曜日にも参加します。また、よろしくお願ひします。
- \* 日頃、英語を学ぶ意味と日本で教えられてきた英語の授業に疑問を抱くことが多かっただけに、今日の実習は目からうろこの感じでした。リスニングの同時通訳者養成の方法は、特に今必要とされる英語の学び方であると痛感しました。また、Writingは必要ながらもなかなかむずかしいものでありますが、俳句や写真、音楽、映像等を駆使して、こころに感ずる思考力からはじめるのはとても参考になりました。ありがとうございました。
- \* まず配付資料が非常に豊富でていねいで役立ちました。授業のリーディングについても、私が一番知りたかった発問について触れてくださり、英文の内容の深め方のヒントを得ました。実際の他の先生方の授業のビデオを観ることができたのも役立ちました。流暢な英語の先生が話す上上手すぎるがゆえに生徒が引いてしまう。授業もコミュニケーションの場であると考えたとき、先生の側も生徒のところへ降りていく必要があると思いました。その意味で教師は演じなければならないのかもしれない。ネットを使った授業でも、様々なサイトを紹介していただき有り難うございました。全体にたくさんの示唆をいただき、有意義な時間でした。
- \* 英語と日本語の構文のちがいの話はとても興味深かったです。単語を多く知っているよりも、単語の深さを知ることも大切ですよ。そういったお話、とてもわかりやすくなりました。大阪女学院の先生方はサービス精神旺盛で、研究熱心で頭が下がります。本当に有り難うございました。
- \* 本学HPで昨年度の講習の感想がありましたが、どれもこれも良い意見ばかりでした。それを読み、今日は期待してやってきましたが、期待どおり、中には期待以上の内容でした。もちろん、新しいこと、自分の知らなかったこと、新しい角度からの気づきとなるideaなど、学べたことが沢山ありました。そして、何よりもありがたかったのが、自分が日頃実践していること、考えていること、生徒に伝えていることは、間違いではなかったという自信を感じることもできました。当初は、9日(月)も申し込む予定でしたが、校務のため本日だけとなりました。あと1日の受講が必要なので、冬休み中に実施される予定があればうれしいのですが、無理でしょうか。先生方もやさしく我々にお気遣いくださり、有り難うございました。





8月9日(月)

## 「論理的思考力や表現力を高める英語授業のデザイン 2」

- ・表現力としての音読や発音指導の基本構想 夫
- ・伝える・伝わる英語表現としての文法指導の基本 中井
- ・ライティング指導におけるコーパス分析活用の基本的な取り組み 東條
- ・表現力を培う語彙学習指導 夫



講習2は15名の先生が受講された。受講後の皆様から本講習のコメントの一部を以下にまとめる。

## 文部科学省指定様式講習評価報告

- I. 本講習の内容・方法についての総合的な評価 … 3.21
- II. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価 … 3.21

## 受講者コメント

- \* 英語教師として生徒にどのようなポイントを押さえて指導すべきかというティップをいただけたと思います。しかし、その実際の方法が、自分自身の知識の増強に終わった感が否めず、自分としては「授業デザイン」というタイトルに興味を持って来たため、その体系的な指導理論に基づく指導法を期待していましたが、やや期待はずれで残念です。今後は、そのあたりのタイトルの付け方に受講者が違うイメージを持たないようなタイトルをつけていただけたらと思います。ありがとうございました。
- \* 大学の講義なので仕方ない部分はあると思いますが、もう少し、皆で意見を分かち合えるようなワークショップ的な要素も欲しかったです。なかなか、他の学校の英語の先生方とお会いする機会も少ないので、他の学校の状況などを具体的に聞けたのですが、そういう時間が全くなかったので残念でした。自己紹介くらい初めにあれば…。教室の移動も多かったのも大変でした。学校の現場では、なかなか厳しいものがあります。実践的かと聞かれれば、授業でやるのは難しいかと感じました。
- \* 授業マネジメントのヒントになるものを期待していたので、その意味では私の期待とは違い、教養を深めることが中心の講習でした。動詞の基本的意味は確かに意義あるものですが、できれば授業でどのように応用するのか、実際の授業展開例も示していただければ、尚よかったです。8月6日の初日の講習はその意味で大変役に立つものでした。2日間、どうも有り難うございました。
- \* 新しい情報がほとんどで、非常に勉強になった。N先生の「語」のイメージは、こちらの知らないものもあり、家でじっくり読まなければと思った。ネットのコーパスはなかなか生徒には使えないが、自分の勉強に使えると思う。
- \* 2日間に亘って講習を受けましたが、Reading, Writing, Listeningの3技能をバランス良く配置されていたと思います。また、Webやコーパスの知識を深めることができました。個人的には、N先生の熱意あふれる授業にこちらまで元気をいただきました。パワーポイントを使って多くの例を用意していただき、本当に有り難うございました。
- \* 「思考力や表現力を高める」というテーマにそった内容であった。とてもレベルが高く、私たち教員の学習法のヒントとして学ぶことが多かった。受験を意識せざるを得ない、薄っぺらな英語の授業になりがちな毎日であるが、もっと深いGlobishな

英語の「こころ」を忘れてはいけないと今回教えていただきました。先生方の熱心なご指導有り難うございました。教材づくり大変だったと思います。

- \* 金曜日に引き続き受講しました。本日も資料がカラー印刷で見やすくしていただき有り難うございました。受講者が多くないのに、わざわざ時間をかけて、準備していただいたのがわかります。発音の講座は、自分がいい加減にしていた部分が改めて確認できました。文法はコアイメージを大切にすること、コーパスはすぐに授業で使えるかわかりませんが、ソフトを紹介していただき自分のために使います。今年はいろんな内容で実施されたとおっしゃっておられましたが、わたしは今年の内容の方が好きです。2日間有り難うございました。来年、更新教員がいれば薦めていきますね。
  - \* たくさんの情報に触れる機会が得られて、ありがたかったです。同時に、こんなに何も自分は知らなかったのかと恥ずかしくなりました。1学期、「やっではないこと」をこんなにもしていたのか、と打ちのめされました。時折、文法については、「こんなイメージで」と授業で説明することはあったのですが、ほとんどの回で、文法用語を多用し、さぞかし生徒には分かりづらかったろうと、心の中で反省しました。改善事項がたくさんありすぎて、今から2学期までに、何をすればよいのか…と考えています。これからの課題が見えたということが、何よりも収穫でした。ありがとうございました。
  - \* 英語を知識として教えるのではなく、コミュニケーションの道具として生産的に使えるようにするためには、英語が持つ独自の考え方やイメージを教える大切さを感じました。また、音声やコーパス等も積極的に学び、今後の授業をするスキルを上げたいと強く思いました。ありがとうございました。
  - \* 英語に対する自分自身の取り組みを振り返り、今までの教え方を見直す良い機会になりました。新しい知識【ネットに関わる】を得たことは、今までとは違った角度からの学習者への見方、自らの教授法を探る一助となりました。新カリキュラムでの文法をどのように教えていくか、悩むところですが、一つ指針をいただけたと感じています。N先生にいただいた羅針盤(Compass)第11号のことばが、現場での悩みを和らげる一言になったことを申し添えます。いろいろとお世話になり有り難うございました。
  - \* 2日間ありがとうございました。英語教育が(英語に限らず学校生活としても)優れていると聞いていましたが、それがわかるような、意欲的な講習でした。この夏休みこころ新たに、授業方法を考え、2学期から取り組みたいと思います。しっかり教材研究することは大事ですね。
- 講習1はほぼ全員の皆様から温かいコメントをいただいた。講習2については、授業デザインという体系的な指導理論を求めたのに講義内容と講習の全体タイトルに整合性がなく残念、受講者の先生方との話し合いや他校の様子が知りたかったなどのお叱りの意見を頂戴した。受講の先生方の期待に応え切れないことがあったようだ。本講習は免許状更新認定という趣旨の制約があり、自由に話し合っていたく時間は設けられなかった。しかしながら、初日に話したように、研修や講習、授業は、T(たのしく)W(わかりやすく)A(ありがたい)と参加者に思ってもらえるものでないと、その値打ちがない。受講して良かった。期待どおりであったと思ってもらえる講習の企画・実施を今後一層検討してゆきたい。全体を通して良かったとコメントいただいた数多くの先生方の言葉も、更に検討して欲しいという励ましとして捉えたい。本講習を企画したのとして、皆様からの意見を真摯に受け止め、今後の改善につなげたい。なにより、学校現場で直接生徒を指導・教示されている先生方が、生徒にとってプラスになる教科教育を実践される一助となるよう、教職課程を設置している大学の責任として、今後の講習や勉強会、HPでの情報提供を行っていきたい。(ひ)

## 授業の玉手箱

### 教室に時事英語を

東條 加寿子

世界で起こっている出来事を英語で知り、理解し、考えていくことは英語の授業をより豊かにする。英語のニュースは、時事英語、ニュース英語、メディア英語など種々の呼び名があるが、英語学習の格好の教材である。VOA (Voice of America) から衛星放送のニュースの時代を経て、今日ではインターネットを介して様々なニュースソースがライブで活用できる。こういった英語のニュースをなんとか理解しようと懸命に英語に取り組んだ経験のある教員も多いことだろう。(私の場合は、アメリカ ABC 放送のアンカーマン、ピーター・ジェニング氏の英語に魅了されて今日がある。)

時事英語は日々の授業のなかでもっと積極的に活用したいものである。特に、テレビニュースやインターネット上のニュースサイトがお薦めである。実は、ニュース英語は物語や論説文などと比べると平易な英語構文になっている。考えてみれば、テレビのニュースは英語圏のお茶の間に流れるわけだから、老若男女、誰にでも理解できる平易で明瞭な英語情報として伝えられるのは当然のことである。また、ニュースはその進展が繰り返して伝えられるので、その過程で内容理解が促進され用語習得が定着することが期待される。

実際に授業で用いる際には、

- 1) ニュース (出来事) にかかわる用語を押さえる
- 2) ニュースの内容を理解する
- 3) リスニングなどのスキルの観点からニュースを聞く (読む)
- 4) ニュースの切り口を考える

といった手順で取り扱うことになろう。特に、4) で示すように、英語で伝えられるニュースの切り口の違いや、なぜそのような報道をするのかについても是非一考を加えたいものである。このことよって、英語という言語の本質や文化の違いが見えてくる。一例を挙げると、今年6月の首相交代のニュースは各国の英語ニュースでも伝えられた。日本では普天間基地移設問題の責任をとっての首相辞任という切り口であったが、例えば CNN のニュースでは、なぜ日本ではこのように度々の首相交代があるのか、こんなに交代して経済問題はどうか、といった視点からの報道であった。こういった報道に接することによって、私たちは、アメリカではたとえどのような失策があっても大統領は4年間の任期に決して交代することはないという制度上の相違を改めて認識することができる。

テレビ局のニュースサイトとしては BBC や CNN がよく知られているが、最近の傾向は、これらのニュースサイトで Learning English (BBC) や Student News (CNN) など学習者向けのサイトが提供されていることである。(CNN Student News ではアメリカ国内の中高生の時事問題意識向上を意図している側面も窺える。) これらのサイトでは生徒・学習者向けに分かりやすくニュースが書き下ろされ、動画の transcript がある上、用語の意味や単語の発音が自学自習できたり、メールで自分の意見を投稿するページもあって、英語学習にとって利便性と効果が高いインターフェイスが工夫されている。世界中の英語学習者・英語教育者が繋がっているという一体感が得られるのも、このようなサイトの活用の利点である。是非一度、ニュースサイトを探索していただきたい。

BBC Learning English:

<http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/>

CNN Student News:

<http://edition.cnn.com/studentnews/>

\* 大阪女学院大学の教職ネット HP には「教室に時事英語を」のページがあり、BBC や CNN のニュースを随時紹介している。

<http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/active/05>

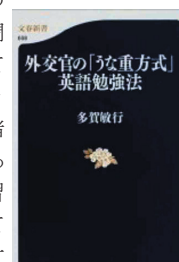
### 書籍紹介

#### 『外交官の「うな重方式」英語勉強法』

多賀敏行著 (2008) 文春新書 720 円 + 税

長年外交官を務めた著者による、自身の英語勉強法や自身・他者の英語使用を見聞きする中で培ったエピソードが紹介されています。タイトルにある「うな重方式」とは、うな重が「ウナギ・タレ・ご飯が一緒に食べられるところに美味しさと魅力があること」とリンクしています。英単語学習も、ターゲットの単語を文から切り離して丸暗記するよりも、例えば動詞ならば、文中でどのような主語や目的語と共起するか、文のテーマは何であるかなど他の要素と関連付けて学習する重要性を説いています。その他にも、カタカナ英語が英語学習に及ぼす弊害や、語源学習法の意義、冠詞の a, the の差異などについても広く、わかりやすい例を使用して紹介されています。高校生にも十分理解でき、なおかつ「ハッとさせる」ヒントが見出せる一冊だと思います。

(夫 明美)



### 編集後記

#### 教職課程 夏季特別講座「教育と人間」

今夏、教職課程履修 (希望) 学生対象に夏季特別講座「教育と人間」を開講した。中学校から狩野典子先生 (兵庫県三木中学校)、高校からは山崎政範校長先生 (大阪府立門真西高校) の両先生にこれまでの経験を通じた教員としての歩みについてお話を聞いた。狩野先生の話には、「涙が出そうになるのをぐっとこらえて、話を聞いていました。教師になることをあきらめようかなと思った時もありましたが、やっぱり教師になりたいと思わせていただきました」「33年間『教師』という仕事をされての体験をお話していただいて、改めて『教師』という仕事の厳しさの現実や嬉しい時の出来事を知ることができました。狩野先生のような先生になりたいです」、山崎先生の話には、「心の荒れた生徒に暴言を吐かれても、そこでひるまず生徒との関わりを断たないというのがすごいな、想いが強いのだと思った。また、そのような姿勢が信頼関係に繋がっていくのだと思った」「生徒は一人ひとり個性があり、考えがある。その一人ひとりの未来を考えて背中を押すのが教師なんだと思いました」など、受講者全員が両先生の話に感銘を受けた。教育は、やはり現場が一番大切だと確信を持った。我々、教員養成センターも学校現場第一に、実際の課題に目を向け、どうすれば少しでも改善に繋がるのか、そういう視点で様々な教育課題改善への研究・啓発に取り組みたい。(ひ)

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学  
教員養成センター Teacher-training Center

540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

Tel: 06-6761-9371 Fax: 06-6761-9373

Homepage: <http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc>

e-mail: [ttc@wilmina.ac.jp](mailto:ttc@wilmina.ac.jp)